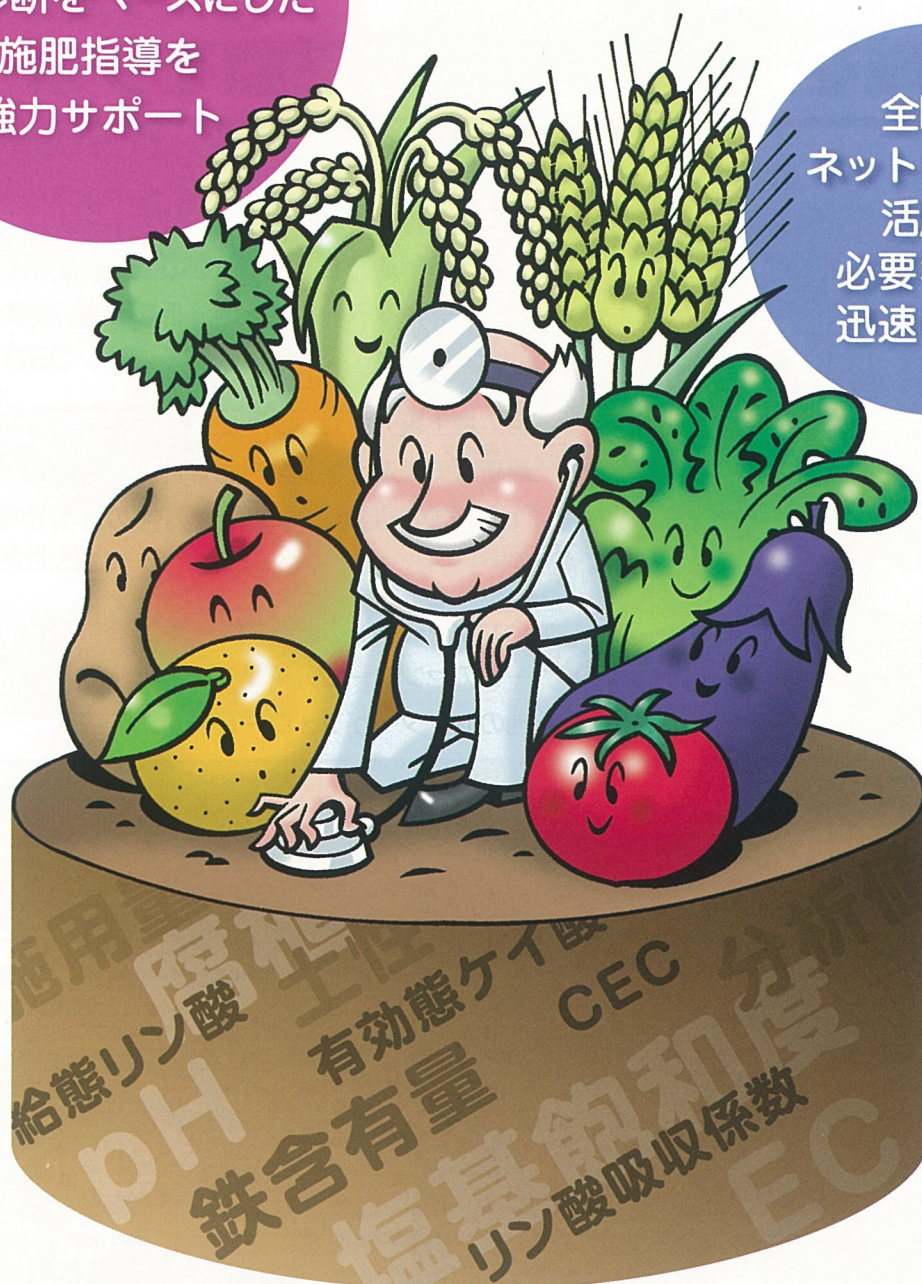


広がる土壌分析Network

広域土壌分析センター

正確・迅速な
診断体制で
土壌診断をベースにした
施肥指導を
強力サポート

全国の
ネットワークを
活用し
必要な時に
迅速に分析



全農

JA全農 肥料農薬部

目的

全国で高まる土壌診断の機運

施肥コストの抑制をめざし、今、改めて「土壌診断に基づく適正施肥」の実現が求められています。平成19年度に実施された土壌診断は、全農35県本部管内で約26万点にのぼり、現在も分析依頼件数は増え続けています。そこで、JA全農では、JAグループにおける土壌診断体制をさらに強化するため、全国9カ所に広域土壌分析センターを設置しました。



特長

県域を越えて、JAの活動をサポート

県域での 土壌診断を強力サポート

県内に土壌分析施設がない場合や、
現行の分析能力を上回る点数の依頼があった時の受け皿となり、
いつでも、すみやかに土壌分析を実施します。

大量の検体を 高精度・スピーディに分析

各広域土壌分析センターには、
最新鋭の高速土壌養分自動分析装置が配備されており、
1センター当たり年間約1万件の分析が可能です。

安心の 分析ネットワーク

全センター共通の分析機器・手法ですので、
一つのセンターに分析が集中した場合は
他のセンターがフォローします。



各センター共通の分析機器・手法で、
精度の高いデータを提供します。



機能

最新鋭の機器と多彩な分析項目

広域土壌分析センター 共通の主な装備

- 高速土壌養分自動分析装置 (SNA-24i)
: 1 台 (最大処理能力 240 点/h)
- 全自動汎用抽出ろ過装置 (CEC-10)
: 3 台 (1 台あたり処理能力 10 検体/回転、1 回転 90 分)
- 土壌 pH・EC 自動分析セット
: 1 台
- 秤量自動分注装置 (SDL-1)
: 1 台



SNA-24i



CEC-10

広域土壌分析センターで 分析可能な項目

	pH	EC
CEC	アンモニア態窒素	硝酸態窒素
可給態リン酸	交換性石灰	交換性カリ
交換性苦土	リン酸吸収係数	可給態ケイ酸
遊離酸化鉄	腐 植	

なぜ、土壌診断が 必要なの？

アンタの圃場は、もうPとKはいらん。
N、それに微量元素を少々じゃな



土壌診断とは、ズバリ「土の健康診断」のことなんじゃ。人間と同様、作物も栄養が多すぎても、少なすぎても健康には育たん。

人間が健康診断で採血するように、土壌診断では土のサンプルを採取して、その成分を分析する。その結果を目安に、土壌養分が不足しているなら必要な分を補給し、逆に養分過多なら施肥量を減らすことでバランスのよい健康な土、健康な作物が生まれるというわけじゃ。

じゃが、肝心なのは診断結果を、しっかりと生産者の皆さんに理解してもらい、土壌管理や施肥設計に反映させて、施肥コストを減らしたり、作物の品質や収量を上げることなんじゃ。そのためにはわかりやすい処方箋づくりと、生産者の皆さんとのコミュニケーションが、とっても大切なんじゃよ。



全国9カ所の土壌分析ネットワーク

◆ 全国土壌分析センター

〒254-0016
神奈川県平塚市東八幡4-18-1
TEL.0463-22-7100

Iwate

■ 広域土壌分析センター 岩手

〒020-0891
岩手県紫波郡矢巾町流通センター南 2-5-2
TEL.019-632-9420

■ 広域土壌分析センター 群馬

〒376-0101
群馬県みどり市大間々町大間々 1661
TEL.0277-73-2930

■ 広域土壌分析センター 千葉

〒286-0045
千葉県成田市並木町字大久保台 221-81
TEL.0476-22-5131

Gunma

■ 広域土壌分析センター 石川

〒920-0356
石川県金沢市専光寺町口 114-1
TEL.076-268-7011

Ishikawa

Shiga

■ 広域土壌分析センター 三重

〒514-2322
三重県津市安濃戸島 569-1
TEL.059-267-1964

Mie

■ 広域土壌分析センター 滋賀

〒520-2331
滋賀県野洲市小篠原大岩山 5-2
TEL.077-586-7033

Hiroshima

■ 広域土壌分析センター 広島

〒734-0013
広島県広島市南区出島 1-32-82
TEL.082-299-5050

Fukuoka

■ 広域土壌分析センター 福岡

〒830-1221
福岡県三井郡大刀洗町高樋 1317-1
TEL.0942-77-5214